

# 介護保険 サービス使うには

誰しも受ける可能性のある「介護」。そもそも介護にかかわる制度はどんなものになっているのでしょうか。高齢化でニーズは増す一方ですが、必要なときにどのように利用すればよいのでしょうか。

## 公的な介護保険サービスの手続きは？

介護が必要かも？



- どのようなサービスがあるのか知りたい、相談したいときは最寄りの「地域包括支援センター」へ
- 市区町村の窓口で申請

## 介護度を調査

介護が必要と判定されたら...

- ケアマネジャーがケアプランを作成
- 介護老人保健施設、特別養護老人ホームなどの施設系サービス、訪問介護や通所介護などの在宅系サービスなどがある

# くらし相談室

Q 家族が介護を必要としているのだけれど、何か保険に入っていないと受けられないの？

A 国は、社会全体で高齢者を支える「介護保険制度」を2000年に始めた。民間の保険に入っていないけれども、65歳以上の人は介護が必要と認められれば、高齢者施設に入所したり、在宅で介護を受けられたりするよ。40歳以上の人は関節リウマチなど特定の病気であれば受けられる。

Q そうなんだ。そもそも「社会全体で支える」といっているけどどう？

A 1990年代以前の介護は家族が担うことが多かったんだ。でも核家族が増えたり、介護の期間が長くなって仕事を辞めたりする人もいたんだ。そこで家族の負担を減らし、みんなが介護が必要な人を支えるために、「介護保険料」としてお金を出し合っことになった。介護保険はこの保険料と公費（税金の半分ずつの財源で構成されているよ）

Q 保険料はみんな払うの？

A 40歳以上が払うよ。40歳あつて、現役世代と高齢者が払う額が違ふよ。

## 市区町村で申請

Q 実際を受けたい場合はどうしたらいいの？

A 受けたい場合は市区町村の窓口について申請を出し、介護が必要かどうかを判断してもらう必要がある。そこで家で介護を受けたい場合は、一般的にはケアマネジャー（介護支援専門員）に「ケアプラン」をつくってもらふ。施設を希望する場合は条件による施設を見つけて申し込みをする形になるよ。

Q 介護が必要の場合ってどう判断されるの？

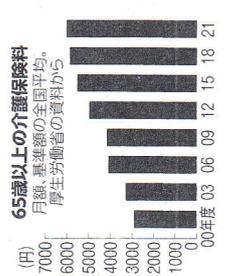
A 身体も認知能力をみて、食事や排泄、移動など介助にかかる時間をはかつて決める。7段階に分かれているんだけど、「要介護1」が最も介護の必要度合いが高いんだ。特別養護老人ホームは基本的に要介護1以上で入れられるなど、その度合いによって受けられるサービスも違うよ。

Q サービスを受けたらお金はかかるの？

A 介護サービスにかかるお金の9割は、前に説明した「介護保険制度」のなかから支払われるよ。

## 介護保険で給付されるサービスの利用上限額（月額）

要支援1	5万3200円
要支援2	10万5310円
要介護1	16万7650円
要介護2	19万7050円
要介護3	27万4800円
要介護4	30万9380円
要介護5	36万2170円



# 自己負担額1〜3割 ■ 高齢化で膨らむ費用 ■ 担い手不足、深刻に

れるよ。残りの1割は自分で負担をしないといけない。ただし一定の所得がある人は15年から2割、特に所得が高い人は15年から3割の負担になった。施設の場合、居住費や食費などは65歳以降、介護保険から払われなくなつて、原則自分で負担するようになった。介護の度合いによって払う額は違ふけれど、例えば特別養護老人ホームの多床室に入居したら、食費なども含めて合計で1カ月約10万3千円（課税世帯の場合）がかかる。

Q 結構な額だね。なぜ負担する額が上がっているの？

A 高齢者が増え、介護にかかるお金が増えているんだ。介護サービスの利用者は20年度に最多の532万8千人（前年度比5万5700人増）になったよ。介護費用の総額は3年連続で10兆円を超えている。介護保険の財政が厳しいから負担を増やしているんだ。

## 保険料月6000円超

Q 保険料は上がっていないの？

A それも上がり続けていく。65歳以上が支払う介護保険料の基準額があるんだけど、その全国平均は、21年度に月6千円を初めて超えななな。制度が始まった00年度は月2911円だったから、2倍以上になっているんだ。

Q そんなに増えているんだ。高齢者が増えるとも介護職員も必要になるけど足りているの？

A 職員も今後さらに足りなくなりそう。だから介護職員に支払う賃金を引き上げられるように、介護サービスへの報酬を上げていくんだ。そうすると利用者も負担が増えるよ。難しい問題だね。

Q 何か対策はないの？

A 国や自治体でも介護が必要にならないように、地域で高

齢者たちが交流できる場をつくらたり、体操をしてもらったりと予防に力を入れているよ。でも近頃には、戦後すぐの頃に17人に生まれた団塊の世代が全員70歳以上になるし、今以上に高齢化は進む。負担が増えていく可能性もある。

Q 将来、介護にかかるお金を負担できるのかな。

A 最近では自己負担の増加にぞんざいで民間の生命保険会社が提供する介護保険のサービスも増えている。国の介護保険制度を連動して、要介護の状態と判定されたら一時金ももらえたり、「介護年金」としてお金の一定のペースで払われたりするものもあるよ。とはいえ、介護費用が増え続け、一方で人手不足が深刻になっていくことは今のままでは避けられない。この先の制度について根本的に見直す必要があるのかも。改めて議論することが必要だね。

(石川 泰)